

2024 年度事業報告

■エリア会議の開催(3回)

10月 夏のキャンペーン総括、2025年度事業について、その他

2月 2025年度事業について、その他、意見交換

※上記のほか、各エリアそれぞれに共通議題なしで開催した

■全国運営者意見交換会の開催

12月7日(土) 参加 39団体

〈テーマ〉 ①フリーダイヤル迂回設定について ②全国キャンペーンについて

③ネットでんわについて

④その他

1. 子どもの「声」を聴く

(1)統一番号フリーダイヤル(0120-99-7777)の実施

- ・毎日 16:00~21:00 まで全国の実施団体と協働で統一番号フリーダイヤルを実施する(通年)
- ・16:00~21:00 以外の常設実施の検討を進め、年末年始を含む常設時間外の実施延長を目指す(通年)
- ・フリーダイヤルオプション自県優先・迂回設定を試験的(2024年4月~2025年3月(期間限定 半年で検証)に外し(有料で希望する都道府県は除く)つながりやすさ等、子どもに不利益が発生しないかを検証をする(通年)
- ・安定的な回線数の確保(曜日ごとの回線数差の解消を図る)(通年)
- ・おとなの妨害電話対策を強化する(通年)
- ・実施団体/エリアから提出された報告書をもとに妨害電話対策を迅速に行う(通年)
- ・キャンペーンをきっかけとして、回線数の少ない曜日を意識した実施日の拡充を図る(8月22日~9月4日、11月20日~26日)
- ・「非通知」「無言」「ワン切り」への対応について、引き続き検討していく(通年)

- ・毎日 16:00~21:00 全国の実施団体と協働で統一番号フリーダイヤルを実施した(69団体)
- ・夏の全国キャンペーン(8月22日~9月4日 16:00~21:00)、フリーダイヤル 24時間キャンペーン(11月20日~26日)を実施した
- ・2024年5月から「チャイルドライン熊本」がフリーダイヤルを開始した
- ・常設時間延長の検討に先立ち、「子どもたちの生活実態を把握し、実施時間についてのニーズを把握する」ことを目的に24時間キャンペーンを実施し、15時台、21時台の発信が多いことを確認した
- ・フリーダイヤルオプション自県優先・迂回設定を試験的に外し、つながりやすさ等を検証した結果、子どもに不利益は発生していなかったことから、この設定を継続していくこととした(自県優先設定を希望する団体は今まで通り自団体で費用負担 3団体)
- ・自県優先・迂回設定を外したことから、おとなの妨害電話が発見しにくくなったため、あらたな対策・対応の検討が課題となった
- ・実施団体/エリアから提出された報告書をもとに妨害電話対策を行った(20件)
- ・子どもかもしれない「無言・ワン切り頻回」電話への対応について、エリア会議で意見交換を行なった。意見を踏まえて、2025年度引き続き検討していくこととした

(2) ネットでんわの実施

- ・実施曜日の増設を目指す（現在毎週月曜日常設）（通年）
- ・新規参加団体向け説明会・接続テストを実施（随時）し参加団体を増やす（通年）
- ・システムのアップデートし、必要に応じ修正をする（通年）
- ・商標使用基準を改定し、ネットでんわをフリーダイヤルと同等とすることを検討する（通年）
- ・おとなの妨害電話対策として、認定方法及び対策強化を検討する（通年）
- ・全国キャンペーンをきっかけとして実施体制の拡充を目指す（8月22日～9月4日）
- ・データベースから実施団体が自地域（都道府県）の子どもの「声」を受け取ることができる仕組みを検討する（通年）

- ・毎週月曜日実施した(16:00～21:00) (6 団体)
- ・夏の全国キャンペーン期間のうち 8 月 22 日～8 月 28 日は毎日 16:00～21:00 実施した
- ・希望する団体に向けて説明会を開催した(1 団体)
- ・12 月全国運営者意見交換会において「ネットでんわの強化」についての意見交換をした
- ・おとなの妨害電話対策のためシステムを修正し、導入した
- ・妨害電話の情報提供を受けつけ、妨害電話と認定したものを迷惑電話として設定した

(3) オンラインチャット実施

- ・毎週第 1, 3 月曜日及び火、水、木、金、土曜日 16:00～21:00 全国の実施団体と協働でオンラインチャットを実施する（通年）
- ・毎日常設実施を実現する（早期に第 2, 4 月曜日及び日曜日常設実施を目指す）
- ・課題共有、毎日実施のための意見交換会を実施する（12 月）
- ・データベースから実施団体が自地域（都道府県）の子どもの「声」を受け取ることができる仕組みを検討する（通年）

- ・毎週第 1, 3 月曜日及び火、水、木、金、土曜日(4 月～1 月)、毎週月～土曜日(2 月～3 月)16:00～21:00 に全国の実施団体と協働でオンラインチャットを実施した(36 団体)
- ・夏の全国キャンペーン期間中毎日実施した(8 月 22 日～9 月 4 日 16:00～21:00)
- ・地域での社会発信強化のために子どもに発信地を尋ねることについてエリア会議で検討した結果、賛否が分かれ、結論に至らなかった

(4) 「つぶやく」で子どもの声をうけとめる

- ・365 日 24 時間 HP 上の「つぶやく」で子どものつぶやきを受けとめる（通年）
- ・受けとめた子どもの声を分析し社会発信する（通年）
- ・「みんなのつぶやき」の更新…引き続き無作為抽出の 50 件（程度）を毎月「みんなのつぶやき」として公開し、実施団体と共有する（通年）
- ・希望する実施団体と「つぶやき（公開してもよい）」を共有する。ただし、セキュリティ、秘密保持のための覚え書きを交わす（通年）

- ・365 日 24 時間 HP 上の「つぶやく」で子どものつぶやきを受けとめた
- ・受けとめた「つぶやき」をピックアップして年次報告や 3 ヶ月ごとのデータなどで社会発信した
- ・「みんなのつぶやき」の更新…引き続き無作為抽出の 50 件（程度）を毎月「みんなのつぶやき」として公

開した

- ・希望する実施団体と覚書を交わし、「つぶやき(公開してもよい)」を共有した(10 団体)

(5)「チャイルドライン全国キャンペーン」の実施

- ・夏の全国キャンペーン (8月22日～9月4日)
夏休み明け前後の子どもたちが不安定になる時期(毎年この時期に行っている)に子どもの声を受けとめるキャンペーンを行う
- ・フリーダイヤル24時間全国キャンペーン(11月20日～26日)
2023年度中国四国エリア主催で実施した際に他エリアから10実施団体もの参加があったこと、実施時間に対する子どものニーズ把握につながることから、全国の実施団体が協力して、11月20日(国連総会において子どもの権利条約が成立した日)より1週間、24時間「聴かれる権利」の保障をする全国キャンペーンを行う

- ・夏の全国キャンペーンを実施した(8月22日～9月4日)

期間中は体制、子どもへの広報を強化した

| | |
|----------------------------------|------------|
| <フリーダイヤル>8月22日～9月4日16:00～21:00 | 参加団体数:69団体 |
| <ネットでんわ>8月22日～8月28日16:00～21:00 | 参加団体数:10団体 |
| <オンラインチャット>8月22日～9月4日16:00～21:00 | 参加団体数:36団体 |

- ・フリーダイヤル24時間全国キャンペーン(11月20日～26日)を実施した

目的:フリーダイヤルの充実を図るため、子どもたちの生活実態と実施時間のニーズの把握
世界子どもの日(11月20日)と児童虐待防止推進月間についての周知や意識づけ

(6)担い手増員のための実施団体支援

- ・新規団体の立ち上げを支援する
ひとりでも多くの子どもの声に耳を傾けるために、新規団体の立ち上げを支援する(通年)
- ・実施団体への研修支援をする
全国の担い手が減少している現状を受け、実施団体と一緒に考え、実施体制強化を目指し、担い手養成のための研修事業を支援する(受け手・支え手の養成・継続研修)(通年)
- ・担い手育成動画ツールを制作する
受け手等養成講座は、実施団体が主体として実施するものであることを前提に、養成講座等が実施困難な実施団体が利用できるよう養成講座の座学部分の動画を制作し、動画を視聴した受け手希望者に対して実施団体が実践プログラム(ロールプレイなど)を実施することで、支援センターと実施団体が協働して通年で受け手を養成できる体制を整えることを試みる。尚、運用に関しては、実施団体が主体的に利用できるよう柔軟に運用する(通年)

- ・新規団体の立ち上げを支援した

(i)「チャイルドラインひょうご」

(ii)立上げのための説明会開催(オンライン)2回(愛知・和歌山)

- ・担い手増員をめざし、実施団体・準備団体への研修支援を行なった(46実施団体、1準備団体)

- ・担い手育成動画ツールを制作した(5講座)。また、2024年度に作成したもののうち9講座については、2025年度も引き続き利用できるよう契約を更新した

(7)エリア研修

・自死予防の視点で、エリアにおける情報共有、スキルアップを図る（通年）

・自死予防のための各エリアにおける研修事業を支援した(7 エリア)(敬称略)

| | | | |
|-------|--------------------------------------------|-------|-----------------------------|
| 北海道東北 | 児童・思春期の子どもへのメンタルサポート | 佐藤利憲 | 8 団体 38 名 |
| 北関東信越 | 「子どもの貧困」～子どもが置かれている現状～ | 小池由佳 | 10 団 105 名 |
| 北関東信越 | チャイルドラインと子どもアドボカシー | 堀 正嗣 | 10 団体 53 名 |
| 南関東 | 子どものための居場所論～子どもがいきいきと育つ 地域社会～ | 阿比留久美 | 14 団体 68 名 |
| 南関東 | 子どもの心を聴く、子どもアドボカシー | 川瀬信一 | 14 団体 55 名 |
| 南関東 | こどもまんなか社会へ向けて～こども家庭庁の取組 | 中原茂仁 | 14 団体 56 名 |
| 南関東 | まつしま病院での事例を通して見える 子ども・若者が抱える課題について | 幸崎若菜 | 14 団体 53 名 |
| 東海 | チャイルドラインの対話な研修 ～受け手との振り返りどうしてる？～(支え手研修) | 若杉逸平 | 6 団体 29 名 |
| 北陸近畿 | 「愛着障害と発達障害の理解と支援」 | 米澤好史 | 12 団体 57 名 |
| 中国四国 | 「死にたい」その気持ちの在りどころ | 土門蘭 | 10 団体 会場 18 名 オンライン 50 名 |
| 九州沖縄 | 「大人目線で子どもの話をきいていませんか？」 | 佐藤敬子 | 8 団体 会場 48 名 オンライン 24 名 |
| 九州沖縄 | 自分の物差しで子どもの声を聴いていませんか？ | 中村尊 | 8 団体 会場 48 名 オンライン 24 名 |

(8)全国研修、チャイルドライン 25 周年記念事業の開催

・子どもの現状や社会課題、チャイルドラインの課題（社会発信など）や社会的役割について深めていく（12 月）

・チャイルドライン 25 周年にあたり記念事業を開催する

・チャイルドライン 25 周年記念公開講演会、全国研修を開催した

1 月 18 日(土)記念講演会「子どもの声が社会を変えていく～聴き続けて 25 年～」

参加者数 128 名(うち、一般参加 7 名)

1 月 19 日(日)午前:全体会「チャイルドラインのこれからを考える」 参加 44 団体(115 名)

午後:44 団体(93 名) 分科会①27 名②20 名③21 名④25 名

2. 子どもの生きやすい社会を目指す

A. 広報・啓発力を強化する

全国すべての子どもたちへのチャイルドラインの広報を強化する

(1) 子どもたちへの広報強化を目指した「チャイルドライン全国キャンペーン」を実施する

- ・全国的な広報活動を進めると共に実施団体の広報活動を支援する（通年）
 - 広報用ポスターを作成し実施団体に配布する
 - デザインカードを作成し申し込みを受けつける
 - 広報動画を制作し公開する（YouTube チャンネル）
 - SNS などを利用し、カードポスター以外の広報に努める
 - 様々な方法で、広報、ファンに繋げる取り組みを行う

・広報用カード・ポスターを作成し実施団体に配布したほか申し込みを受けつけた

（夏：各団体ポスター100枚、11月：各団体ポスター10枚、カード960枚）

・SNS などカードポスター以外の広報に努めた

・NPO 法人フリースクール全国ネットワーク主催「学校むりでもここあるキャンペーン」と連携し、全国のフリースクールにキャンペーンポスターを配布した

(2) 地域、状況を越えて全ての子どもたちに広報する手立てを検討し実施する

- ・空白地の子どもへのカード、ポスターを配布する（通年若しくはキャンペーンと連動）
- ・新規団体作りが進んでいる場合はその団体と連動させて進める（通年）
- ・告知カードを配布しきれない都道府県の子供たちへの広報も視野に入れる（通年）
- ・児童館、小児科医院など子どもに関わる施設や団体の協力を得て広報する（通年）
- ・告知カード以外の子どもへの広報を工夫する（通年）
- ・チャイルドラインへのアクセス方法をわかりやすく動画で制作公開（YouTube チャンネル）するなど、SNS などを利用した広報につなげていく（通年）

・空白地7県にカード約1,550,000枚、ポスター約5,000枚を配布した（兵庫県含む）

・全国の児童館（2800件）にポスターを配布した

・SNS（YouTube、TikTok、インスタ）を利用し、子どもへの広報、チャイルドラインへのアクセス方法の広報を行なった

(3) 子どもの権利条約を様々な手段で啓発する

- ・子どもの権利を知ってもらう動画を制作公開し（YouTube チャンネル）SNS などを通じて伝えていく（通年）

・子どもの権利を知ってもらうよう YouTube チャンネル・SNS などで発信した

(4) ホームページの充実を図る

- ・子ども、おとなへの啓発をかねた広報の場として、また子どもの意見表明・社会参加の場として活用できるよう見直しを行い、充実させていく（通年）

・子ども、おとなへの啓発をかねた広報の場として、また子どもの意見表明・社会参加の場としてホームページを活用した

B. 子どもアドボカシーの視点から子どもの声を社会発信する

チャイルドラインが子どもに対して果たすべき社会的役割を「子どもアドボカシー」の視点から考える各実施団体において地域の子どもの「声」の分析、社会発信ができるよう支援する。受けとめた子どもの「声」の分析を促進し、施策提言を進める

(1) 子どもの声をデータベースに集積する

- ・社会状況に応じたデータ分析を行うためデータベース改修について検討する（通年）
- ・データ集積のためのデータベース入力費用を支援する（通年）

- ・データベース改訂に伴い、3月19日に説明会を開催した(49団体)
- ・説明会における意見を集約し、項目追加は見送り、事例入力欄を追加した
- ・データベース入力費用を支援した(69団体)

(2) 定期的に子どもの「声」の分析を行い、迅速な共有、発信を進める

- ・トラフィックデータを集計し実施団体と共有する（通年）
- ・3ヶ月毎、及び必要に応じてデータ分析し、発信する（通年3ヶ月毎）
- ・各種キャンペーンなどの実施報告、事業のまとめを行う際に、必要に応じて、データ分析を行う（通年）

- ・毎月のトラフィックデータ(電話・ネットでんわ・チャット)、つぶやくの件数を実施団体に共有した
- ・3ヶ月毎にデータの集積・分析を行なった。毎回分析テーマを設け、テーマに沿った関連データとともにそこから見える子どもの状況について社会発信に役立つよう「集計データから、子どもたちの状況を読み解く」を作成し、実施団体に共有するとともに、ホームページ上で公開した
第1四半期:学校に行きたくない・不登校 第2四半期:虐待
第3四半期:希死念慮 第4四半期:親子関係
- ・夏の全国キャンペーンのまとめを作成し、ホームページ上で公開、実施団体に共有した
- ・24時間キャンペーンの実績データを作成し、実施団体に共有した

(3) 子どもの声、意見の受発信ツールとして HP を子どものためのポータルサイトにしていく(3ヶ年計画3年目)

- ・子どもが参加できる仕組みを構築する（通年）
- ・子どもの意見表明の受け皿作りを引き続き進める（通年）

- ・ホームページを随時修正した
- ・子どもにチャイルドラインの活動報告をするためのページを作成した
- ・子どもの大人への意見表明の場として「おとなにいいたい」を継続して設置し、意見を受けつけた
- ・小中高校生の自殺が過去最多となったことを受けて、大人のページに緊急メッセージを掲載した

(4) 年次報告及びダイジェスト版を発行する

- ・2024年次報告書・ダイジェスト版を編集、発行し配布する（7、8月頃）

- ・2024年次報告書(発行部数3,800冊)、ダイジェスト版(発行部数12,700枚)を作成、発行、配布した
- ・子どもの声のデータおよび分析のほかチャイルドラインからの提言「学校における『聴かれる権利』を保障する」や「おとなにいいたいこと」、子どもの権利条約の理念に基づいたチャイルドライン活動などについてまとめた
- ・実施団体、行政機関、関連・協力団体、国会議員などに配布した

(5)省庁、議員、他団体との連携、協働を強化する

- ・子どもの生きやすい社会を作るために多方面の子ども支援団体と連携を図る（通年）
特に、こども基本法制定から子どもの権利条例づくりの動きが活発化している。行政との協働を含め、関係団体との連携を強化する
- ・2024年度チャイルドライン支援議員連盟総会・勉強会を開催し、チャイルドラインからみえる子どもの現状を伝えるとともに必要な施策について提言していく（12月～3月頃）
- ・こども家庭庁を始め関係省庁との連携を強化し、子どもに関する審議会等に参加、参画できるよう働きかける（通年）
- ・内閣府「孤独孤立相談事業」参加団体を実施団体より募り、チャイルドライン支援センターが窓口（受託）となって国との協働事業を進める（通年）

・子どもの生きやすい社会を作るために多方面の子ども支援団体と連携を図った

『月刊自治研』への寄稿・座談会への参加「こどもが生きていこうと思える社会であるために」

厚生労働省「令和6年版自殺対策白書」への寄稿「チャイルドラインに寄せられるこどもの声からの希死念慮についての考察」

ラジオ出演等

・「子どもの権利条約フォーラム 2024 in 東京」への参画・分科会開催

11月9日・10日 立教大学池袋キャンパス 実行委員 1名 ボランティア 4名

分科会「聴いてみよう 話してみよう ～わかりあうためのコミュニケーション～」 参加者 15名

・2024年度チャイルドライン支援議員連盟総会・勉強会に向けて提言を準備した

提言テーマ「包括的性教育の推進」

提言準備にあたり、性教育関係者を招き勉強会を開催した

8月8日 金子由美子さん(理事・元養護教諭)

9月18日 樋上典子さん(元保健体育教諭)

9月27日 直島阿弥子さん(養護教諭)

・子どもの自殺者数過去最多を受けて、SNS相談コンソーシアム合同で緊急フォーラムを開催した

(於:衆議院議員会館)

開催日 7月12日(金)

・こども家庭庁との意見交換を行なった(於事務局)

開催日 2024年9月3日 参加者 こども家庭庁9名 理事3名および事務局長

・三原じゅん子内閣府特命担当大臣を訪問し、子どもの声を聴くことについて意見交換を行なった

開催日 2024年12月23日 参加者 理事2名および事務局長

・内閣 官房孤独孤立対策室主催「孤独・孤立相談ダイヤル」への実施協力を行った

初参加の実施団体に向けては、昨年度実施した説明会動画を共有した

<第1回実施>

期間 5月2日(木)10時から5月7日(火)10時まで

参加団体(13団体)あおもり・よこはま・しずおか・あいち・MIE・OSAKA・ひがしおおさか

はらっぱ・とんだばやし・いずみ・ひろしま・おおいた・かごしま

<第2回実施>

期間 12月25日(水)10時から1月4日(土)10時まで

参加団体(17団体)あおもり・しずおか・はままつ・あいち・MIE・京都・なら・OSAKA

とんだばやし・はらっぱ・ひがしおおさか・いずみ・ひろしま・もしもしキモチ

おおいた・かごしま

- ・受けとめた子どもの声について CHI にデータをとどけた

C. ファンド・組織力を強化する

全国のチャイルドライン活動のために、助成金補助金を公的資金として位置づけ確保する
組織の資金調達力をあげ、事務局やマネジメント力を強化し組織力の強化を図る

(1) 実施団体への運営支援を行う

- ・各実施団体への支援をエリア幹事及びエリア担当理事の連携で行っていく（通年）
- ・被災地支援を行う

- ・全国の実施団体から寄せられた能登半島地震支援金(722,244 円)を一番被害が大きかったチャイルドラインいしかわが活用することとした（にいがた・とやま・ふくいは辞退）

(2) 支援者(団体)を増やし寄付の増収を図る

- ・支援会員の拡大、3,000 円以上の寄付者の拡大に取り組む（通年）

- ・支援会員に支援継続のお願いを送付した
- ・正会員へ年次報告書ダイジェスト版を配布し、支援の拡大を呼びかけた

(3) 他団体との連携、協働によりファンドツール開発及び普及拡大を図る

- ・寄付型自動販売機の普及（通年）
- ・新規ファンドツールの開発、普及（通年）

- ・コカ・コーラの寄付型自販機の普及に取り組んだ(長崎県 3ヶ所 4 台、大分県 7 台うち新設 1 台)
- ・寄付企業およびサントリーから申し入れがあり、寄付型自販機を設置した(大分県 1 台)
- ・Rockon Social Club がチャリティとしてチャイルドラインの広報ステッカーを販売、その売上げの一部を寄付として受け取った
- ・チャリティ専門ブランド JAMMIN とコラボし、チャイルドライン活動の広報とした。同時に T シャツなどの売上げの一部を寄付として受け取った

(4) ニュースレターを発行(年 2 回)する

- ・支援者に向けて、子どもの状況、活動を伝えるニュースレターを作成し、継続的なチャイルドラインへの支援を促していく（通年 10 月、2 月）

- ・No.149 12 月 20 日発行 発行部数:1,500 部

特集「性教育」

巻頭言:「性」への包括的な学びを子どもにも、おとなにも

メッセージ:子どもの幸せを願うのであれば、包括的性教育を

チャイルドラインいじめのデータ、活動報告

- (No.150 4 月 30 日発行 発行部数 1800 部)

3. チャイルドラインのこれからを考えていく

- ・実施団体の現状を聴いていくことを大切にし、その上で、共通のビジョンや具体的な目標を見出し、共有していくために、エリア会議、意見交換会を行い、チャイルドラインのこれからを考えていく

・子どもの意見を聴く機会をつくる

・12月7日に運営者意見交換会を開催。「チャイルドラインのこれから」をテーマに設定し、結論やゴールを出す事ではなく、各実施団体の意見の「違い」を尊重し、「納得」や「提案」を創り出すことを目的に議論を展開した

・1月19日に全国研修を開催。全体研修のテーマを「チャイルドラインの「これから」について」と設定し、10年後のチャイルドラインの姿について、様々な観点から「問い作り」を通して実施団体の規模や歴史、個人のキャリアを越えて学びを深めた

4. 子どもの声が社会を変える事業(特定資産事業)

・2025年3月15日臨時総会において、「子どもの声が社会を変える事業」特定資産運用規程を確認し、上記事業の計画・予算を承認した

フリーダイヤルの状況

◇毎日 16:00～21:00 実施（12月29日～1月3日休止）

◇11月20日 16:00～11月26日 21:00 まで 24時間実施（24時間キャンペーン）

◇年間で前年より発信数 30,604 件、着信数 1,848 件減少した。総通話時間も 1,084 時間、総実施時間数は約 1,274 時間、の減少となった。おとなからの妨害電話対策を講じたことも減少要因の一つと考えられる。

【フリーダイヤルトラヒック】フリーダイヤル 0120-99-7777 に関する交換機上の通信データ

NTT コミュニケーションズのトラヒック調査ツールにより取得（総実施時間はチャイルドライン支援センター調べ）

<月別実施状況>

| 照会区間 | 発信数 (件) | 着信数 (件) | 着信率 | つなが った率 | 平均通話 | 総通話 時間 | 総実施 時間 |
|----------|------------|------------|--------|------------|--------|-----------|-----------|
| 2024年4月 | 25,495 | 12,076 | 47.4% | 65.7% | 5分18秒 | 1,067 | 2,951 |
| 2024年5月 | 25,844 | 13,086 | 50.6% | 67.1% | 4分53秒 | 1,064 | 3,003 |
| 2024年6月 | 28,858 | 13,338 | 46.2% | 66.4% | 4分31秒 | 1,004 | 2,871 |
| 2024年7月 | 29,648 | 13,951 | 47.1% | 66.4% | 4分43秒 | 1,094 | 2,988 |
| 2024年8月 | 27,846 | 13,636 | 49.0% | 68.1% | 4分27秒 | 1,009 | 2,846 |
| 2024年9月 | 32,721 | 15,844 | 48.4% | 64.5% | 4分7秒 | 1,088 | 2,822 |
| 2024年10月 | 27,841 | 16,217 | 58.2% | 66.9% | 4分7秒 | 1,110 | 2,996 |
| 2024年11月 | 26,548 | 15,469 | 58.3% | 66.2% | 4分21秒 | 1,119 | 2,707 |
| 2024年12月 | 20,780 | 12,903 | 62.1% | 63.6% | 4分6秒 | 882 | 2,759 |
| 2025年1月 | 22,857 | 12,335 | 54.0% | 65.1% | 4分3秒 | 930 | 2,479 |
| 2025年2月 | 19,209 | 11,733 | 61.1% | 67.0% | 4分3秒 | 879 | 2,529 |
| 2025年3月 | 24,087 | 13,436 | 55.8% | 64.5% | 4分24秒 | 986 | 2,845 |
| 2024年度 | 311,734 | 164,024 | 52.6% | 66.0% | 04分29秒 | 12,239 | 33,793 |
| 1日平均 | 868 | 457 | 52.6% | 66.0% | 04分29秒 | 34.1 | 94.1 |
| 2023年度 | 342,338 | 165,872 | 48.5% | 66.2% | 04分49秒 | 13,323 | 35,067 |
| 前年度比 | -30,604 | -1,848 | +4.1P | -0.2P | -20秒 | -1,084 | -1,274 |
| 前年度比 | 91.1% | 98.9% | 108.5% | 99.7% | 93.1% | 91.9% | 96.4% |

※P はパーセントポイント（以下同様）

※時間の合計値は各月の小数点以下を反映しているため、月の合計と必ずしも一致しない。

<端末別>

| 端末種別 | 発信数 (件) | 着信数 (件) | 平均通話 | 2024年度 着信比率 | 2023年度 着信比率 | 前年度比 |
|------|------------|------------|-------|----------------|----------------|-------|
| 固定電話 | 29,304件 | 16,446件 | 5分57秒 | 10.0% | 12.7% | -2.7P |
| 公衆電話 | 6,222件 | 3,508件 | 3分04秒 | 2.1% | 1.5% | +0.6P |
| 携帯電話 | 276,206件 | 144,070件 | 4分21秒 | 87.8% | 85.7% | +2.1P |

※合計値が〈月別実施状況〉の件数と一致しない場合がありますが、NTT サーバー上のデータによる差異によるものです。ご了承ください。

◇固定電話が減少し、携帯電話の比率が増加した。

<不完了>（発信数（311,734）のうち受けきれなかった電話（147,710／47.4%）の内訳）

| 不完了 | 時間外 | 話中 | 途中切れ・ 無応答 | その他 | 24年度 不完了計 | 23年度 不完了計 |
|-----------|---------|---------|--------------|---------|--------------|--------------|
| 件数 | 20,332件 | 38,461件 | 60,562件 | 28,353件 | 147,710件 | 176,466件 |
| 発信数に対する割合 | 6.5% | 12.3% | 19.4% | 9.1% | 47.4% | 51.5% |

◇不完了の数、割合ともにさらに減少している。(4.1ポイント減)

<都道府県ごとの発信／着信結果>

| 都道府県名 | 発信数 (件) | 着信数 (件) | 平均通話 | 総通話 時間 | 都道府 県名 | 発信数 (件) | 着信数 (件) | 平均通話 | 総通話 時間 |
|-------|------------|------------|--------|-----------|-----------|------------|------------|--------|-----------|
| 北海道 | 4,312 | 1,821 | 8分16秒 | 251 | 大阪府 | 24,148 | 14,138 | 3分35秒 | 844 |
| 青森県 | 484 | 212 | 8分58秒 | 32 | 京都府 | 3,625 | 1,871 | 6分34秒 | 205 |
| 秋田県 | 1,777 | 849 | 7分20秒 | 99 | 滋賀県 | 10,313 | 4,972 | 3分59秒 | 331 |
| 岩手県 | 1,235 | 487 | 6分00秒 | 49 | 奈良県 | 756 | 302 | 9分40秒 | 49 |
| 宮城県 | 4,325 | 2,637 | 5分41秒 | 250 | 和歌山県 | 12,612 | 6,837 | 3分32秒 | 403 |
| 山形県 | 6,443 | 3,502 | 1分46秒 | 103 | 兵庫県 | 11,272 | 6,385 | 4分08秒 | 439 |
| 福島県 | 2,638 | 1,326 | 7分18秒 | 161 | 岡山県 | 3,410 | 1,763 | 6分46秒 | 199 |
| 新潟県 | 10,142 | 5,995 | 4分15秒 | 425 | 広島県 | 2,135 | 856 | 9分27秒 | 135 |
| 長野県 | 5,511 | 3,287 | 3分58秒 | 218 | 島根県 | 912 | 343 | 8分58秒 | 51 |
| 群馬県 | 4,883 | 3,228 | 3分33秒 | 191 | 鳥取県 | 4,351 | 2,388 | 1分27秒 | 58 |
| 栃木県 | 3,328 | 1,455 | 7分30秒 | 182 | 山口県 | 3,501 | 2,198 | 1分36秒 | 58 |
| 茨城県 | 3,400 | 1,633 | 7分21秒 | 200 | 香川県 | 217 | 76 | 13分03秒 | 17 |
| 東京都 | 30,850 | 15,024 | 6分16秒 | 1,570 | 徳島県 | 376 | 167 | 10分55秒 | 30 |
| 神奈川県 | 28,893 | 13,826 | 3分43秒 | 857 | 高知県 | 624 | 285 | 6分37秒 | 31 |
| 千葉県 | 9,671 | 5,127 | 7分24秒 | 632 | 愛媛県 | 543 | 218 | 14分20秒 | 52 |
| 埼玉県 | 17,684 | 9,982 | 4分28秒 | 742 | 福岡県 | 16,383 | 9,150 | 2分59秒 | 454 |
| 山梨県 | 2,062 | 1,176 | 8分03秒 | 158 | 佐賀県 | 1,710 | 891 | 4分50秒 | 72 |
| 愛知県 | 47,879 | 24,469 | 3分21秒 | 1,368 | 長崎県 | 881 | 310 | 14分45秒 | 76 |
| 静岡県 | 9,464 | 5,290 | 2分44秒 | 242 | 熊本県 | 2,072 | 1,059 | 14分31秒 | 256 |
| 岐阜県 | 3,929 | 2,070 | 4分32秒 | 156 | 大分県 | 623 | 215 | 13分28秒 | 48 |
| 三重県 | 1,460 | 645 | 10分50秒 | 117 | 宮崎県 | 549 | 222 | 5分41秒 | 21 |
| 富山県 | 2,531 | 1,140 | 4分35秒 | 87 | 鹿児島県 | 1,385 | 520 | 8分53秒 | 77 |
| 石川県 | 3,591 | 2,444 | 2分11秒 | 89 | 沖縄県 | 1,809 | 618 | 8分22秒 | 86 |
| 福井県 | 1,033 | 615 | 8分02秒 | 82 | | | | | |

<曜日別>

| 日付 | 団体数 | 最大時回線数 | 総実施時間数 | 着信率 | つながった率 | 稼働率※ |
|-----|-----|--------|--------|-------|--------|-------|
| 月曜日 | 13 | 21 | 102 | 64.4% | 67.8% | 32.7% |
| 火曜日 | 13 | 22 | 98 | 51.7% | 65.2% | 35.6% |
| 水曜日 | 15 | 23 | 111 | 67.8% | 69.4% | 35.4% |
| 木曜日 | 13 | 20 | 93 | 59.0% | 64.9% | 38.8% |
| 金曜日 | 12 | 20 | 91 | 74.6% | 73.2% | 39.3% |
| 土曜日 | 16 | 23 | 106 | 69.8% | 69.2% | 31.5% |
| 日曜日 | 8 | 12 | 48 | 19.1% | 50.7% | 46.5% |

※稼働率は、「総実施」あたりの「総通話」の比率

◇日曜日はつながりにくくなっており、昨年に引き続き、日曜日の体制強化は喫緊課題である。

<通話料（工事費・迂回等オプション費用含む）（月別）>単位：円

| 通話料 | 2024年度 | 前年度比 | 2023年度 |
|------|------------|---------|------------|
| 4月 | 1,350,036 | 37,983 | 1,312,053 |
| 5月 | 1,348,732 | 67,690 | 1,281,042 |
| 6月 | 1,306,446 | 40,647 | 1,265,799 |
| 7月 | 1,320,811 | -10,745 | 1,331,556 |
| 8月 | 1,335,416 | 5,542 | 1,329,874 |
| 9月 | 1,409,462 | 98,463 | 1,310,999 |
| 10月 | 1,440,199 | 217,620 | 1,222,579 |
| 11月 | 1,443,655 | 78,131 | 1,365,524 |
| 12月 | 1,182,620 | 79,256 | 1,103,364 |
| 1月 | 1,203,783 | 55,582 | 1,148,201 |
| 2月 | 1,186,082 | 68,088 | 1,117,994 |
| 3月 | 1,293,130 | 224,909 | 1,068,221 |
| 計 | 15,820,372 | 963,166 | 14,857,206 |
| 1日平均 | 44,068 | 2,683 | 41,385 |

◇2024年4月よりフリーダイヤルを受信するためにかかるオプション費用が有償化されたため、昨年と比べ増加した

オンラインチャットの状況

2024年4月～2025年1月まで第1・3月曜・火・水・木・金・土曜日実施。(12月29日～1月3日休止) 2025年2月より毎週月曜日～土曜日まで実施

夏の全国キャンペーン期間中(2024年8月22日～9月4日)は毎日実施した。

【オンラインチャットトラフィック】

<月別実施状況>

| 照会区間 | 訪問数 (件) | 書き込み数 (件) | 対応数 (件) | ユニーク訪問 人数 | 対応率 (%) | 平均対応時 間 | 総対応 時間 | のべ実施 時間 |
|-----------|------------|--------------|------------|--------------|------------|------------|-----------|------------|
| 2024年4月 | 9,129 | 2,750 | 1,400 | 5,489 | 50.9% | 33分40秒 | 785 | 958 |
| 5月 | 10,429 | 3,198 | 1,398 | 6,193 | 43.7% | 35分54秒 | 836 | 961 |
| 6月 | 11,064 | 3,341 | 1,453 | 6,434 | 43.5% | 36分54秒 | 893 | 964 |
| 7月 | 13,133 | 4,152 | 1,561 | 7,474 | 37.6% | 34分34秒 | 899 | 912 |
| 8月 | 13,407 | 4,382 | 1,636 | 7,201 | 37.3% | 43分19秒 | 1,181 | 1,037 |
| 9月 | 13,774 | 4,264 | 1,491 | 7,717 | 35.0% | 42分27秒 | 1,054 | 891 |
| 10月 | 12,235 | 4,191 | 1,530 | 6,913 | 36.5% | 39分12秒 | 999 | 922 |
| 11月 | 17,641 | 4,694 | 1,484 | 9,777 | 31.6% | 41分59秒 | 1,038 | 895 |
| 12月 | 18,226 | 4,515 | 1,554 | 10,251 | 34.4% | 37分21秒 | 967 | 917 |
| 2025年1月 | 17,375 | 4,375 | 1,462 | 9,867 | 33.4% | 37分55秒 | 924 | 845 |
| 2月 | 17,613 | 4,663 | 1,603 | 9,555 | 34.4% | 39分35秒 | 1,057 | 955 |
| 3月 | 15,303 | 3,834 | 1,535 | 8,628 | 40.0% | 34分31秒 | 882 | 982 |
| 2024年度 | 169,329 | 48,359 | 18,107 | 95,499 | 37.4% | 38分11秒 | 11,520 | 11,235 |
| 1日平均 | 464 | 168 | 63 | 332 | | | 40 | 39 |
| 2023年度 | 134,593 | 37,174 | 14,559 | 81,116 | 39.2% | 41分59秒 | 10,187 | 9,347 |
| 前年度比 | +34,736 | +11,185 | +3,548 | +14,383 | -1.8P | -3分48秒 | +1,333 | +1,888 |
| 前年度 比% | 126% | 130% | 124% | 118% | 95% | 91% | 113% | 120% |

※訪問数＝「チャットページ」を閲覧した延べ人数

※書き込み数＝チャット入力欄に書き込んだ数

※対応数＝チャイルドライン側が「何らかの言葉」を入力した数(ガイダンスは除く)

※ユニーク訪問人数＝実際に訪問した人数(割当IDの重複を除いたもの)

※対応率＝書き込まれた数に対して「対応」した割合

※平均対応時間＝対応した数のうちの平均

※総対応時間＝対応した数の積算合計(単位)

※のべ実施時間＝PC稼働数と実施を「延べ」で積算した数

※1日平均の訪問数とユニーク訪問数は年度計を365日で割っている。書き込み数と対応数、総対応、のべ実施については実施日数で割っている。

※の合計値は各月の小数点以下を反映しているため、月の合計と必ずしも一致しない。

<端末別>

| 端末別 | 対応数 | iPhone (スマホ) | iPad (タブレット) | Android (スマホ・ タブレット) | PC |
|-------|----------|-----------------|-----------------|----------------------------|---------|
| 対応数 | 18,107 件 | 5,675 件 | 695 件 | 4,901 件 | 6,836 件 |
| 端末別割合 | 100.0% | 31.3% | 3.8% | 27.1% | 37.8% |

<都道府県別>のデータはチャットトラフィックにはない。

<曜日別>

| 日付 | 実施日数 | 団体数 | 実施時間数 | PC 稼働数 | のべ実施 時間数 | 対応率 | 稼働率 |
|-----|------|-----|-------|--------|-------------|-------|--------|
| 月曜日 | 30 | 5.6 | 24.9 | 7.3 | 33.0 | 40.4% | 97.2% |
| 火曜日 | 51 | 3.4 | 14.9 | 7.4 | 32.9 | 40.2% | 92.6% |
| 水曜日 | 51 | 5.6 | 20.8 | 9.8 | 44.2 | 41.0% | 116.1% |
| 木曜日 | 51 | 5.4 | 22.1 | 8.4 | 39.0 | 33.6% | 112.8% |
| 金曜日 | 51 | 5.4 | 20.8 | 7.7 | 34.3 | 33.0% | 113.9% |
| 土曜日 | 52 | 5.8 | 22.3 | 13.3 | 52.8 | 52.3% | 87.2% |
| 日曜日 | 2 | 5.0 | 22.3 | 5.5 | 26.3 | 24.5% | 155.4% |

※のべ実施時間数=システム上で「電話受付可」がオンの状態で、受け手が待機している時間

※対応率=書き込まれた数に対して「対応」した割合

※稼働率=「のべ実施」あたりの「総対応」の比率

(稼働率が100%超について:「実施」は、団体から提出されたシフト(実施予定表<オンラインチャットスプレッドシート>)に基づき積算している。記載の実施・パソコン台数等が実際の実施と異なっていること、対応できた人の対話以外が含まれていることが原因と考えられる)

ネットでんわの状況

◇4月から1年通じて毎週月曜日、2025年2月から第1木曜日を実施日として追加した。着信数は10月～1月にかけて減少。平均通話時間はまだかなり短い。端末はandroidが多い。

【ネットでんわトラフィック】 チャイルドラインアプリを通じての通話システムから、自動集計されたものを取得。

<月別実施状況>

| 照会区間 | 発信回数 | 着信回数 | 着信率 | つながった率 | 不完了数(件) | 平均通話時間 | 総通話時間 | 実質のべ実施時間 |
|----------|--------|--------|-------|--------|---------|--------|---------|----------|
| 2024年4月 | 465 | 432 | 92.9% | 94.4% | 33 | 1.0分 | 6.8時間 | 88時間 |
| 2024年5月 | 227 | 202 | 89.0% | 89.5% | 25 | 0.9分 | 5.7時間 | 59時間 |
| 2024年6月 | 282 | 250 | 88.7% | 94.7% | 32 | 1.5分 | 6.0時間 | 67時間 |
| 2024年7月 | 264 | 231 | 87.5% | 89.4% | 33 | 2.2分 | 7.0時間 | 64時間 |
| 2024年8月 | 325 | 287 | 88.3% | 92.3% | 38 | 3.7分 | 7.0時間 | 89時間 |
| 2024年9月 | 234 | 209 | 89.3% | 95.2% | 25 | 3.0分 | 8.0時間 | 47時間 |
| 2024年10月 | 104 | 95 | 91.3% | 92.0% | 9 | 1.6分 | 2.3時間 | 37時間 |
| 2024年11月 | 182 | 163 | 89.6% | 90.0% | 19 | 2.0分 | 4.8時間 | 44時間 |
| 2024年12月 | 73 | 57 | 78.1% | 94.1% | 16 | 1.8分 | 1.7時間 | 36時間 |
| 2025年1月 | 129 | 113 | 87.6% | 89.3% | 16 | 2.6分 | 4.5時間 | 43時間 |
| 2025年2月 | 507 | 448 | 88.4% | 95.2% | 59 | 1.7分 | 10.1時間 | 39時間 |
| 2025年3月 | 239 | 220 | 92.1% | 90.9% | 19 | 1.4分 | 4.9時間 | 59時間 |
| 2024年度 | 3031 | 2707 | 89.3% | 92.3% | 324 | 1.94分 | 68.8時間 | 674時間 |
| 1日平均 | 8 | 7 | | 92.3% | 1 | 1.94分 | 0.2時間 | 2時間 |
| 2023年度 | 1390 | 1218 | 87.6% | 87.9% | 172 | 2.58分 | 35.1時間 | 503時間 |
| 前年度比 | +1,641 | +1,489 | +1.7P | +4.4P | +152 | +0.64分 | +33.7時間 | +171時間 |
| 前年度比(%) | 218% | 222% | 102% | 105% | 193% | 76% | 196% | 134% |

※ 2023年度は8月から実施のため、8月からの集計となっています。

※平均通話時間の小数点が「秒換算」ではないのはシステム上の自動集計表記のためです。

※ P はパーセントポイント

※ 時間の合計値は各月の小数点以下を反映しているため、月の合計と必ずしも一致しない。

<端末別>

| 端末別 | 発信回数 | iOS数 | android数 |
|-------|--------|-------|----------|
| 対応数 | 3031 | 351 | 2680 |
| 端末別割合 | 100.0% | 11.6% | 96.4% |

<不完了> 月別実施状況の表に加えた。

<都道府県ごとの発信/着信結果> 集計していない。

<曜日別>

| 日付 | 実施団体数 (1日平均) | ピーク時 回線数 | のべ 実施時間 | 着信率 | つながった 率 |
|-----|-----------------|-------------|------------|--------|------------|
| 月曜日 | 3 | 6 | 629 時間 | 89.4% | 92.7% |
| 火曜日 | 1 | 1 | 5 時間 | 60.0% | 50.0% |
| 水曜日 | 2 | 3 | 7 時間 | 81.8% | 75.0% |
| 木曜日 | 1 | 1 | 5 時間 | 77.8% | 100.0% |
| 金曜日 | 2 | 2 | 10 時間 | 90.0% | 100.0% |
| 土曜日 | 2 | 3 | 12 時間 | 87.5% | 100.0% |
| 日曜日 | 2 | 2 | 6 時間 | 100.0% | 100.0% |

つぶやくの状況

| | 合計 | 公開して もよい | 公開しな い | | 合計 | 公開して もよい | 公開しな い |
|------------|-------|-------------|-----------|------------|--------|-------------|-----------|
| 2024 年 4 月 | 1,207 | 988 | 219 | 10 月 | 1,587 | 1,322 | 265 |
| 5 月 | 1,371 | 1,118 | 253 | 11 月 | 1,796 | 1,476 | 320 |
| 6 月 | 1,626 | 1,334 | 292 | 12 月 | 1,538 | 1,251 | 287 |
| 7 月 | 2,061 | 1,719 | 342 | 2025 年 1 月 | 1,412 | 1,178 | 234 |
| 8 月 | 2,219 | 1,834 | 385 | 2 月 | 1,290 | 1,080 | 210 |
| 9 月 | 1,823 | 1,565 | 258 | 3 月 | 1,238 | 1,022 | 216 |
| | | | | 合計 | 19,168 | 15,887 | 3,281 |

2. 運営に関する事項

【通常総会】

日時：2024年6月8日（土）

会場：BIZ 新宿（新宿区立産業会館）新宿区西新宿 6-8-2

議題：2023年度事業報告・組織運営報告・ビジョンに関する事項・決算報告・監査報告・2024年度事業計画・予算

【臨時総会】

日時：2025年3月15日（土）

会場：東京都新宿区天神町 14 神楽坂藤井ビル 5 階

議題：「子どもの声が社会を変える事業」特定資産事業計画および予算

【理事会】

| | | |
|--------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月23日（火） 19：00～22：00 （オンライン開催） | 13名 | 石川県能登地震被災実施団体支援について、ひょうご商標仮使用申請・熊本商標使用申請の承認、第3回エリア会議についての報告、通常総会について、孤独孤立相談ダイヤルについて、事務局より連絡・報告等 |
| 5月24日（金） 14：00～17：00 （オンライン開催） | 10名 | 通常総会に向けて、2年間の組織運営を振り返って、事務局より連絡・報告等 |
| 6月8日（土） 17：00～18：30 （対面開催） | 9名 | 代表理事の互選、専務理事の互選、常務理事の互選等 |
| 6月20日（木） 19：00～21：00 （オンライン開催） | 9名 | 通常総会についての報告、理事会運営体制について、今後の運営スケジュールについて、事務局より連絡・報告等 |
| 7月17日（水） 19：30～21：30 （オンライン開催） | 11名 | 各委員会からの報告および提案事項の承認、理事会の権限役割の整理、今後のスケジュールについて、各種規程について、理事勉強会について、子どもの権利フォーラム分科会参加について、能登半島地震支援について、エリア会議への事務局参加について、事務局より連絡・報告等 |
| 10月12日（土） 13：00～15：30 （対面開催） | 12名 | 各委員会からの報告および提案事項の承認、認定 NPO 更新に向けて、フリーダイヤル 24 時間キャンペーンについて、運営者意見交換会について、商標使用更新手続きについて、厚生労働省自殺防止対策事業の公募について、「つぶやき」のデータ利用について、能登半島地震支援について、各種規程について、事務局より連絡・報告等 |
| 1月24日（金） 19：00～22：00 （オンライン開催） | 10名 | 事業計画の策定（特定資産化）について、臨時総会の開催日程・議案について、臨時総会についての説明会開催について、厚生労働省 2025 年度自殺防止対策補助事業申請について、DB の項目追加およびアウトプットシステム機能の拡充および費用について、オンラインチャットシステム改修及び費用について、自販機寄付の寄付配分割合の変更について、オンラインチャットの同時多数書き込みへの対応について、「つぶやく」覚書について、 |

| | | |
|--------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 各委員会からの報告、事務局より連絡・報告等 |
| 2月16日(日) 13:30~15:30 (オンライン開催) | 9名 | 事業計画の策定(特定資産化)について、厚生労働省自殺防止対策事業公募申請について、次年度事業計画について、各委員会からの報告、事務局より連絡・報告等 |
| 3月7日(金) 19:00~22:00 (オンライン開催) | 10名 | 次年度事業計画・予算について、商標使用更新について、ひょうごの商標使用申請について、商標使用基準の見直しについて、臨時総会議案について、厚生労働省「自殺防止対策補助事業」公募申請について、エリア会議報告、各委員会からの報告、事務局より連絡・報告等 |

【常務理事会】

| | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 4月22日(月) | 5月14日(火) | 5月27日(月) | 6月20日(木) |
| 6月29日(土) | 7月9日(火) | 7月22日(月) | 8月6日(火) |
| 8月27日(火) | 9月10日(火) | 9月24日(火) | 10月8日(火) |
| 10月29日(火) | 11月12日(火) | 11月26日(火) | 12月10日(火) |
| 12月16日(月) | 12月23日(月) | 1月14日(火) | 1月24日(金) |
| 1月28日(火) | 2月4日(火) | 2月6日(木) | 2月7日(金) |
| 2月25日(火) | 3月11日(火) | 3月25日(火) | |

【エリア担当理事会】7月6日(土)、8月8日(木)、8月27日(火)、9月5日(木)
11月17日(日)、12月26日(木)、1月15日(水)、2月26日(木)、3月28日(金)

【幹事打ち合わせ会】10月6日(日)、1月28日(火)

【年次報告打ち合わせ】5月14日(火)、6月20日(木)

【チャイルドラインのこれから委員会】7月7日(日)、8月28日(水)、9月30日(月)
10月29日(火)、12月28日(土)、3月6日(木)

【25周年記念・全国研修委員会】7月5日(土)、7月29日(木)、8月30日(火)
9月9日(木)、11月5日(日)、1月7日(木)、1月23日(水)

【政策提言委員会】7月7日(日)、8月8日(木)、8月22日(木)、9月18日(水)
9月27日(金)、10月10日(木)、11月18日(月)、12月10日(火)、1月14日(火)
1月31日(金)、2月17日(月)

【エリア会議開催】(敬称略)

| エリア名 | エリア幹事 | 開催日 | 形態 |
|-------|---------------|---------------------------------|---------|
| 北海道東北 | CL こおりやま 大岡桂子 | 10月18日(金)、2月8日(土) | オンライン開催 |
| 南関東 | しながわCL 谷山啓太 | 10月27日(日)、2月3日(日) | オンライン開催 |
| 北関東信越 | CL にいがた 寺島幸優 | 10月22日(火)、2月14日(金)、 3月16日(日) | オンライン開催 |
| 東海 | CL あいち 高橋弘恵 | 10月18日(金)、2月15日(土) | オンライン開催 |
| 北陸近畿 | しがCL 谷口久美子 | 10月14日(月)、2月9日(日) | ハイブリッド開 |

| | | | |
|------|---------------------|-------------------------------|----------------|
| | | | 催 |
| 中国四国 | CL 岩国ステーション 村中昌恵 | 10月26日(土)、2月8日(土) 3月22日(土) | 対面・オンライン 開催 |
| 九州沖縄 | CL「もしもしキモチ」 三宅玲子 | 10月10日(火)、2月14日(金) | オンライン開催 |

企業からのご寄付・協賛 (法人のみ、順不同、敬称略)

寄付者

| | |
|-------------------|---------------------------------|
| 日本電信電話株式会社 | 宗教法人 真如苑 |
| ソフトバンク株式会社 | 株式会社 NTT ドコモ |
| MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ | チャイルドライン支援議員連盟 |
| KDD I 株式会社 | つながる募金 (ソフトバンク) |
| 三和グループ社会貢献倶楽部 | 一般社団法人ほのぼの運動協議会 |
| 株式会社オプテージ | 株式会社ユサブル (岩本光弘さん) |
| 東京海上ビジネスサポート株式会社 | 一般財団法人 全国学生保障援助会 |
| よつわや | 若松測量設計株式会社 |
| 連合愛のキャンパ | 鎮西学院高等学校 |
| 株式会社ヘンプフーズジャパン | リンナイ株式会社 |
| 医療法人蒼会 | リンベル株式会社 |
| まんだら堂 | JAMMIN アイテム購入者一同 |
| 清松総合鐵工株式会社 | Yahoo!募金 |
| 特定非営利活動法人元気なかま | 株式会社東京レコード (Rockon Social Club) |
| コープおおいた南春日店 | ララプレイスひうみ |
| 明豊中学高等学校 | 柳ヶ浦高校 |
| 一般社団法人未来サポート | ロイヤルクリーナー株式会社リファイン大分 |
| 昭和学園高校 | OSUSO |
| 株式会社建和 | |

個人・団体支援会員 (法人)

| | |
|-------------------|----------------------|
| シクミオ株式会社 (団体) | まえはら小児科 (個人) |
| 株式会社佐藤建設 (団体) | 医療法人キュレスト 山森小児科 (個人) |
| すぎやまこどもクリニック (個人) | 株式会社ラングランズ (団体) |

ほか個人支援会員 19 人

補助金・助成金

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------|
| 厚生労働省 自殺防止対策事業 | 18歳以下の子どもの自死予防、そのための対応強化事業 |
| 連合 愛のカンパ | 子ども権利条約の理念に基づき、子どもの声を受けとめ、その声を社会に発信し、子どもが生きやすい社会をめざすチャイルドライン事業 |